

検査成績評定項目別評定表(機械)

評定項目	細目	評価対象項目	
施工管理	施工管理	☐ 現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。 ☐ 施工関係書類が過不足なく作成されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等) ☐ 産業廃棄物処理の書類が過不足なく作成されている。 ☐ 施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。 ☐ 施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。 ☐ 他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。 ☐ 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。 ☐ 契約内容の変更について監督員と協議している。 ☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。 ☐ 官公庁届出など必要関係書類が過不足なく作成されている。 ☐ 関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。 ☐ 施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ () ☐ ()	
		評定点 / × 100 = 点	
品質管理		品質管理	☐ 資材の品質や形状・規格を証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 社内検査を実施し、記録が過不足なく作成されている。 ☐ 承諾図書が過不足なく作成されていて内容も適切である。 ☐ 耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が過不足なく作成されていて内容も適切である。 ☐ 構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 防錆・防食・防水・区画処理などに対する配慮が適切である。 ☐ 品質管理に関する工事記録写真が過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 主要機器の工場試験記録が過不足なく作成されている。 ☐ 水圧・満水・気密・絶縁試験など、施工の品質確認方法が適切である。 ☐ 水質・系統・流量及び機能など、試運転時の確認方法が適切である。 ☐ 速度・機能など、試運転時の確認方法が適切である。) ☐ 機器・器具の動作確認、運転調整記録、測定記録などが整備されている。) ☐ 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。)
			評定点 / × 100 = 点

検査成績評定項目別評定表(機械)

評定項目	細目	評価対象項目
施 工 管 理	出来形 1 共通部分	☐ 各材質・規格及び寸法は設計図書に適合している。 ☐ 機器(ポンプ、空調機等)、その架台などの仕様・数量に問題がない。 ☐ 機器、その架台などの取り付け方法が適切である。 ☐ 貫通部の処理など、他との接点部分の施工が適切に行われている。 ☐ 塗装・防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。 ☐ 外部から明視できない部分の出来形を、写真その他記録等で確認できる。 ☐ 漏水・異音・異常振動・保守不能など機能を損なうような異常がない。 ☐ 完了時総合試運転における試験、機能確認内容が、現場状況と一致している。 ☐ 諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。 ☐ 付属品・納入品が用意されており、リストが過不足なく作成されている。 ☐ 撤去・改修部分が設計図書に適合しており、処置も適切である。
	出来形2-1 管工事 ・給水衛生 ・空調換気 ・冷暖房 ・除害 ・水処理	☐ 器具(衛生器具、制気口、サーモ等)の仕様・数量に問題がなく、取り付けも適切である。 ☐ 配管・ダクト・電路などの仕様・工法・サイズが設計図書に適合しており、現場状況ともマッチしている。 ☐ 配管・ダクト・電路などの附属品(弁、ダンパー、可とう継手、計器、ボックス等)の仕様・サイズ・数量が設計図書に適合しており、取り付けも適切である。 ☐ 配管・ダクト・電路などの支持材の仕様・サイズ・支持間隔・勾配に問題がなく、堅牢確実に取り付けられている。 ☐ 配管の埋設深さ・埋設方法・勾配が適切である。 ☐ 各樹類及び蓋の仕様・サイズが適切である。 ☐ 保温の仕様・厚さ・施工箇所及び範囲が適切である。 ☐ 冷媒などの封入記録が整理されており、試運転前の作業と点検・確認が適切である。 ☐ システム・施設全体での機能確認・試運転調整の記録が整理され、検査時に確認できる。
	出来形2-2 搬送機ほか ・エレベータ ・エスカレータ ・機械駐車 ・水門 ・クレーン	☐ 構造体の構造・仕様・部材・組立寸法に問題がない。 ☐ ロープ・シーブ・歯車装置・シャフト・配管など伝動部の仕様・サイズ・固定方法が適切である。 ☐ 制御盤・電路の取り付け・固定方法が適切で、堅牢確実に取り付けられている。 ☐ 付帯設備・装備品の仕様は設計図書に適合しており、固定方法も適切である。 ☐ 走行・可動部分と他との位置・離隔が適切である。また、安全上の配慮がなされている。 ☐ 调速・制動装置が確実に作動し、それが確認できる。 ☐ リミットスイッチ・地震感知器などの安全装置は確実に作動し、それが確認できる。 ☐ 連絡・通報・計測・制御装置は確実に作動し、それが確認できる。 ☐ 試運転前の作業と点検・確認が適切である。
	評定点	/ × 100 = 点

検査成績評定項目別評定表(機械)

評定項目	細目	評価対象項目	
施工管理	出来ばえ	☐ 使用者に対する安全性などに配慮がされている。	
		☐ 運転操作、使い勝手に配慮がされている。	
		☐ 機器などの更新が配慮がされている。	
		☐ 保守・修繕・消耗品・部品取替などへの配慮がされている。	
		☐ 細部に至るまで仕上がり状態は良好である。	
		☐ 機器・器具の収まりがよく、他との整合が取れている。	
		☐ 配管・ダクト・電路などの配置が適切で、収まり上無理がなく、他との整合が取れている。	
		☐ 施工に統一性が見られ、ばらつきがない。	
		☐ 表示・標識等が適切にされている。	
		☐ 騒音・振動などが少なく、円滑な運転が確保されている。	
		☐ 施工済み部分の養生が適切である。	
		☐ 出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
		☐ ()	
			評定点

- 備考 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
 2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
 (評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。